

# QSS-3502Green タンク液の調液方法【MPC仕様共通】

## 1. 処理薬品の準備

処理薬品 (MPC-22)	P-1R (CD)	P-2R (BF)	P-3R (STB)	P-1S
必要箱数	1箱	1箱	1箱	—
使用本数	1本	1本	4本	2本

## 2. 調液割合

母液タンク容量		P-1 (CD)	P-2 (BF)	P-3 (STB)
		15.7 L	15.8 L	31.7 L
調液割合	補充液	6.2 L	9.5 L	31.7 L
	スターター	1,725 ml	—	—
	水	7.8 L	6.3 L	—

## 3. タンク液の調液

\* 各母液タンクから処理ラックを抜き出す時、液が他の母液タンクに入らないよう十分注意してください。

\* 調液に使用する容器(バケツ)は、CD用とその他用を分けてください。

- P-1  
(CD)
- 容量 20L 以上の清潔な容器に 15～40℃ の水を 8L 用意します。
  - P-1R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
  - 上述のb. で作った液(P-1R 補充液)を CDサブタンクから 6.2L 注入します。残った液は補充タンクに入れてください。(約 3.8L)
  - P-1S (スターター) 1,725mLを CDサブタンクから注入します。
  - 15～40℃ の水をオーバーフローするまで CDサブタンクから注入します。(約 7.8L)

- P-2  
(BF)
- 容量 10L 以上の清潔な容器に 15～40℃ の水を 5L 用意します。
  - P-2R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
  - 上述のb. で作った液(P-2R 補充液)を BFサブタンクから 9.5L 注入します。残った液は補充タンクに入れてください。(約 0.5L)
  - 15～40℃ の水をオーバーフローするまで BFサブタンクから注入します。(約 6.3L)

- P-3  
(STB)
- 容量 20L 以上の清潔な容器に 15～40℃ の水を 19.8L 用意します。